

## 第40回北九州市環境審議会

1. 日 時 平成27年3月19日(木) 15:00~16:20

2. 会 場 リーガロイヤルホテル小倉 3階 クリスタル

### 3. 出席者(敬称略)

会 長 浅野直人

会長代理 八記博春

委 員 赤木純子、北野久美、自見榮祐、土井智子、波田千賀子、服部祐充子  
細川文枝、松井克演、松岡裕一郎、松下葵、吉塚和治(50音順)

関 係 者 (オブザーバー)

濱小路兼生(若松区衛生協会連合会 会長)、

福丸清生(小倉北区衛生協会連合会 会長)、

事 務 局 松岡環境局長、諫山循環社会推進担当理事、小林環境政策部長、  
青柳環境監視部長、佐藤循環社会推進部長、中本環境未来都市推進室  
長、内藤環境国際担当部長、山下環境科学研究所長、武田総務課長、  
東田環境学習課長、梶原環境未来都市推進室次長、平石エネルギー戦略  
担当課長、田原スマートコミュニティ担当課長、山本環境産業担当課長、  
久保環境国際戦略課長、長濱アジア低炭素化センター担当課長、  
作花環境保全課長、二宮監視指導課長、敷田循環社会推進課長、  
檜木野業務課長、岩原事業系廃棄物担当課長、田中施設課長、石田基幹  
改修担当課長、佐藤環境科学研究所次長

### 4. 議 題

#### (1) 審議事項

- ① 会長代理の選任について
- ② ごみステーションのあり方について

### 5. 議事要旨

#### (1) 新規委員の紹介

市議会常任委員会委員の改選に伴い、市議会議員4名の交代があったため、新規委員の紹介を行った。

#### (2) 審議事項

##### ① 会長代理の選任について

北九州市環境審議会規則に則り、浅野会長の指名により会長代理に八記委員が選出された。

##### ② ごみステーションのあり方について

「ごみステーションのあり方」について、これまでの委員の意見等を集約した答申案をもとに事務局から説明が行われ、その後審議が行われた。

### 6. 議事録(要旨)

#### (1) 環境局長挨拶

第40回の環境審議会の開催にあたりまして、一言ご挨拶をさせていただきます。委員の皆様方には、日頃から北九州市の環境行政に対しまして、ご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼を申し上げます。それから、今回新たに委員になられた皆様におかれましては、委員就任に対してご快諾いただきましたこと重ねてお礼申し上げます。

本日の議題でございますが、これまで議論を重ねてきましたごみステーションのあり方について、答申案のご議論を賜ることになってございます。

ごみステーションにつきましては、まさに環境局の仕事そのものであり、市民の本当

に身近なところでやっている仕事でございます。さらに、市民が日頃ごみを出すという意味で、本当に身近なことであり、そういった意味では非常に我々にとっても大切な問題であるというふうに思っております。

これまでのご議論の中でも、私どもやはり反省させられることとか、いろいろ考えさせられることが沢山ございました。そして、今後の道標、我々の基本となるものでございますので、是非ともご闊達なご議論をお願いしまして、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

## (2) 審議事項

### ① 会長代理の選任について

#### 【会長】

それではどうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、先程ご説明がありました、委員が交代されましたので本市の審議会規則の第2条第3項で会長代理を選ぶことになっております。前任の会長代理が交代されましたので、新しく選出に入りたいと思います。

会長代理は、委員の中から会長が指名をすることとなっております。従来からの慣例で、環境建設委員長をお願いしておりますので、八記委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、会長代理の八記委員にご就任いただくということに決定をいたしましたので名札をお立てください。それでは、新たに選ばれました会長代理に一言ご挨拶をいただきます。

#### 【会長代理】

皆さんこんにちは。慣例により会長代理に選出されました八記博春です。どうかよろしくお願いいたします。

先程もありましたが、浅野会長、中央環境審議会会長、ご就任おめでとうございます。配布されております新聞、報道によりますと会長の趣味は役人いびりだということがあります。官僚の皆さんと一緒に、最初の段階から知恵を出して良い法案をつくるということに自負があるというふうにも書かれてありました。そういう会長の姿勢をしっかりと学びながら一緒に微力ではありますが頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

### ② ごみステーションのあり方について

#### 【会長】

どうもありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に入りたいと思いますが、今、聞かれましたように中央環境審議会の会長に就任いたしました。しかし、まずはやはり地域の審議会をしっかりとやっているということが大事だと思っております、あちらこちらで申し上げますが、やはり地域に育てていただいたということが特に強いと思うのです。

北九州市は実は研究室に入って最初に調べて回りました。黒崎で頭がセメントの灰だらけになりながら歩き回り、被害者のお宅一軒一軒を回って、どういう被害でしたかというのを聞いて回って、最初の論文を書きました。そこから始まっておりますので、私も研究のルーツは北九州市にあるということでございます。

昨日まで北京に行っておりましたが、日本での公害対策について中国の人に話をしようということで、市役所の人をお願いをして北九州の昔の写真を見せました。北九州市だけがそうだったわけでもないのですが、この頃は視界が本当に2~300メートル位で、昼間でもヘッドライトを付けないと車が走れない、そういう状態だったという話をしました。北京に行ったときはちょうど風が吹いておりません、PM2.5が370ppmとか物凄い状態ですね。そんな中で日本もこうだったけど今はこれだけきれいになったのだと北九州市の写真を見せたら、それだけでもだいぶ中国の人は元気が出たようです。

余計なことはこのぐらいにしまして、今日のごみステーションのあり方についてこれまでずっと時間をかけて皆さんにご議論いただき、ご意見をいただいて整備をしてきました。

前回、答申の骨格についてある程度ご了承いただけたと思いますが、それをさらにきちんと文章にするということで事務局の皆さんに作っていただいたものを直しています。出来上がった文章は、私に責任があるのですが、だからと言って遠慮せずにどんどん言っていただければと思います。

それではまずお手元にあります答申案について、事務局からご説明をいただきたいと思います。

#### ごみステーションのあり方について、業務課長より説明

##### 【会長】

それでは、只今お手元にあります答申案について、概要それから内容についてのポイントを説明頂きました。概ねこれまで頂いたご意見を反映したつもりではありますが、何かさらにお気付きの点がございましたらご指摘をいただきたいと思います。今日は出来れば答申の取りまとめまでいきたいと思います。今日は議題がこれだけですので、昔よくありましたが、全員に一言ずつお話しいただくことにしたいと思いますので、よろしくをお願いします。何でも結構です。これに関係のないことでもいいですし、あるいは今まで言い残したこともおありかもしれません。こういうこともやって欲しいなどのご要望もあるかもしれませんし、読んで見ると少し表現がおかしいなと思うこともあればそれもご指摘いただいても構いません。どんなことでも構いません、とにかくご発言いただきたいと思います。

##### 【委員】

ここの資料を事前にいただいて拝読させていただきましたが、実際にこれまでの審議の内容は全て盛り込まれていると私は思っています。特に追加することも正直ないと思っています。何か意見を出さなければならないと思うのですが、ちょっと今のところすぐに思いつくことがないのですが。

##### 【会長】

ありがとうございます。それでは次の委員どうぞ。

##### 【委員】

お世話になります。今、委員がおっしゃったように、拝見いたしまして本当に盛り込まれているなと思いました。でも、何か言わなくてはいけないので少し探してみました。

市と地域が車の両輪となってステーションの維持、管理というのは、本当に素晴らしいことだと思いますし、何かあったとき、苦情、その他に関しては市が責任を持つということも地域にとってすごく有難いなと感じています。やはり地域の中で違反者にどうこう言うとやはり関係性が崩れてしまうこともあるので、このルール違反者には市が責任を持つということは本当に有難いと思ったのですが、PRのところでは全ての市民にあらゆる機会を通して北九州市のルールを広報、啓発するとあります。でも一方で、ローカルルールを大事にしますというところがあるので、そのように当然されるとは思いますが、北九州市の最低限のスタンダードというか、必ずこれを守ってくださいね、後は地域のルールを守ってくださいねということで、おそらく2つ柱が出てくるのだろうなと思います。その2つ目の柱のところではやはり地域で混乱が起きないようにわかり易い表示が必要だなというふうには思いました。

##### 【会長】

保育所としてはどうですか。

## 【委員】

保育所としてよろしいでしょうか、あまり発言が出来ないので。

実は本当に具体的な事例なのですが、私の園では、勤労感謝のときに地域の清掃をいたします。清掃といっても本当に限られますが、自分達が遊んでいる公園とか、お散歩コースとか、そういった所をお掃除しよう、自分達も勤労をしようということです。そのときにやはり沢山のたばこの吸殻や植え込みの中の空き缶やペットボトル、そういったものを目にするわけです。それもひとつのきっかけとして保護者に伝わっていけばいいなと思うなかで、これをいざ捨てる時に迷ったわけです。子ども達に分別して捨てるようにしましょうといった時の分別の仕方や、その周辺にあるごみ箱のわかりづらさと言っては語弊があるかもしれませんが、例えば自販機の横にはペットボトルの捨てるごみ箱は用意してあります。何故ペットボトルと分かるかと言ったら、それくらいの穴しか開いていないのですね。地域のごみが捨てられないようにではあるのですが、では地域のごみを拾った時にどこに捨てようというとき、そのためのごみ箱をあまり見かけないのです。

園で、もちろんそういう指導をして、こういうところに捨てようねって言いますが、言ったもののどこに捨てようというのがないのです。ごみステーションがありますけれど曜日で決まっているし、本当に変な話ですが例えば、シンガポールとか香港とかに行った時にすごくいいなと思ったのが、ペットボトルの形のペットボトル入れ、新聞の形の新聞紙や紙等を捨てるごみ箱、そういう形に分かれていたのです。それが、ある程度道に設置してあったのです。少なくともいろんな人に、外国の人や若い人、子どもにもお年寄りにも分かりやすいごみ捨て場ではあったなと感じました。ステーションは整っているけれども、実際拾ったものを捨てる場所があるのかなと思った時に少し少ない気がしました。その辺のところは私達が子ども達にごみを拾おうねとかそういう指導をする時に、もう少し整えられていたらいいのかなというのは日々思っていたところですが、子ども達を通して保護者さんにもそういう啓発が出来たらいいなと日々考えながら努力をしているところです。

## 【会長】

ありがとうございます。拾ったごみをどこに捨てたらいいかというのは、言われてはっと気づいたのですが、これはまた一度リアクションを考えておいてください。下手に置くとまたごみ捨て場が散乱してしまうということなので多分担当者の方は、今ぞっとしたと思うのですが。工夫は何かありそうな気がしますね。それでは次の委員どうぞ。

## 【委員】

今回の答申につきましては、非常によくまとめていただいていると思いますのでこれに付け加えたり削除したりということはございません。

一般論として、これからの問題として少し気にかかることを2、3申しますと、前回も少し申しましたが、この40年間、市民との関わりの中で、ごみを集めていただく方が実に忍耐強い付き合い方をされて、ここまで出来上がってきたのだらうと思います。

最後はやはりお互いの信頼関係というか、モラルで解決できる方向に行くべきだと思います。今、世の中も非常に訴訟社会に向いていますから、道路に石ころがあつてそれにつまづいて転んでも道路管理者に文句を言うとか、そういうことが多くあります。ごみ捨てるルールはこうですと言ったときに、あまり頑なにそのルールだけで解決しようとすると、せつかくのコミュニティを破壊する方向になってしまいます。昔、どこかのゴルフ場のエチケツト委員会の表でありましたが、三流のコースはたばこの吸殻とかごみが沢山落ちています。二流のコースは、ごみが落ちていたら、キャディーさんやそのメンバーが拾う。一流のコースは捨てる人も拾う人もいない。最後はモラルというかそれが本当の文化だと思うのです。

今北九州はこういう問題を通して、ほぼ二流の上位までいっているのかなと思います。最後は、やはり持っていく人、出す人、お互いの感謝の気持ちというのがつながってこない、あまり頑なにことを言っていたら難しいと思います。

それと、町中はきれいになってきているのですが、逆に家の中がごみだらけとか、無駄な物だらけになっているというのが昨今の現状だと思うのです。昔は、田舎では余ったものは焚き火で燃やして処理して、町中でも空き地で少し焚き火をして不良品を焼いたりしていました。これが一つのごみの処理方法だったということです。ですから、現在は実際に強力な焼却炉を持っているのですが、そういう自分達で手軽に処理出来るというのが無くなっている、いろんなかたちの中で焼くということは非常に大事なことでと思います。そういうこともあり、この前テレビで、独居老人などの家庭ではごみの山というか、とにかく不要品が積みあがって壁も見えない状態になっていて、簡単にごみとか不用品を捨てにくい世の中になっているということがどこかで見られます。

ですから、ごみは全て資源ですよという価値観を植えつけること、これも非常に大事な価値観だと思うのです。しかし片方で今の文明社会の中で不用品をどう始末していくかという別の観点の価値観もあっていいのではないだろうかと思っています。

それと、ごみの散乱について、あくまでもカラスとの知恵比べという世界があると思います。一度申し上げましたが、私のところは戸畑区の金比羅山の近所で、夕暮れどきになったら多くのカラスが森に帰ってきます。帰ってはくるのですが、子が待っているわけでもなく、どこかに巣があるようにも見えないし、カラスの死骸があるわけでもないし、本当にカラスの生態というのはどうなっているのかなど。どこかのゴルフ場のキャディーさんに聞いたら、とても頭の良いカラスがいて、彼らはキャディーカートに積んでいる荷物をつつき、ストラップの付いている携帯やお菓子をくわえて持っていくと言っていました。そういうのを駆除するというとまた大問題になりますから、やはりこれをどうすればいいのかなど。広島市の平和公園で鳩が増えすぎた際、鳩の餌を売るとか絶対に餌をやらないでくださいとか、そのような運動を展開したら、わずか半年で3分の1位に数が激減したということがありますので、どういうつつき方をしているとか、やはりこちらもカラスの知恵に負けないように生態を研究しないといけないのではないかと、道路上に散らばっているごみを見る度にそう思います。以上です。

#### 【会長】

どうもありがとうございました。仕事が少々増えましたね。いのちのたび博物館に行かなければいけないですね。多分、馬場さん辺りに聞いたらいろいろ教えてくれそうな気がするのでは是非生態からもう一回よく考えるというのは大事なご提案かもしれませんね。

#### 【委員】

答申に関しまして何も申し上げることはございませんが、私たち町内会でキャンペーンとかのチラシを出す時に、必ず自分達の決めたステーションは自分達の手で守りましょうとか、地域の美化は地域の手でとか、そういう冠を付けながらPRをしています。

それから、私たちの校区では、3世代交流ふれあい活動というものがあり、中学生、小学生が全員自分の町内に帰って、保護者や住民と交流しながら自分達の地域の清掃を続けており、もう5年位になります。自分の地域にこういうおじちゃん、おばちゃんがいる、こういう子どもがいるということが分かりまして、一緒に楽しく有意義な清掃活動が出来ているということは、私はとても素晴らしいことではないかと自負しております。以上です。

#### 【会長】

はい、有難うございました。

#### 【委員】

私は 1 ページ目のふれあい収集のことでお願いになると思いますが、要支援ということで杖をつけておられる方等、なかなかご希望されている方々も多いかと思えます。前回もありましたが、本当に必要な方にふれあい収集をもっと広げて頂けると嬉しいなと思えます。よろしくお願いします。

それと、私も地元の川で清掃活動等をしていて、あまりごみを捨てる方が多いので、何とかしたいなというのが願いです。これからもどうぞよろしくお願い致します。

**【会長】**

はい、有難うございました。

**【委員】**

はい、私も審議会に参加させて頂くようになって、ごみの問題を自分のことだけではなく、周囲、例えば収集場所など気になるようになったのですが、たまたま先日地元の収集場所で、ご近所の方が網の繕いをされていました。理由は「3年毎しか助成がないので、町内会費で買った」と言われていました。しかしながら買うだけでは駄目で、やはりそういうふうにして下さる方がいるからまたきれいになるのです。本当にボロボロになっていたのですが、それにはいくつか理由があるというお話しで、大学がすぐ近くにあり、学生さんや留学生が住んでいる。戸建てが多い地域なので、いろんな人たちが住んでいて、そこに学生アパートもあるということでごみの出し方への意識が、同じ地域でかなり差があるのです。今回答申案にあった属性であったり、背景であったりというものがあり、意図せず違反者として夜中に出すとか、違う曜日に違うごみを出すとか、そういった方たちへの支援、そういう複合的な課題のある地域もあるというのを感じました。ですから今回答申に書いていただいていることは、私どもとしては有難いことだなと思えます。

一つだけ、今後の取り組みでごみの出し方に適した機材というか、そういうものを研究していきますというものがありませんでしたが、先日、他所のまちのごみ集積所の見学に参りまして、そこで教えて頂いたのがバケツ型です。下に水がぼたぼた溜まるので生ごみを入れておけば水分が切れて、焼却等のエネルギーが少なくてすむというのです。「それは他の町民は買えないのでしょうか」と聞くと、買えないとのことでした。そのようなものがあるというのをそこで初めて知ることが出来ましたので、そういうものもご紹介等して頂けると嬉しいかなと思えます。

**【会長】**

はい、ありがとうございます。それでは次の方どうぞ。

**【オブザーバー】**

はい、全体的な内容についてよくまとまっていると思うのですが、私からは 2 点ほどあります。ごみステーションの現状で、散乱ごみが 810 カ所で市内の 2%ということで、今後の課題として、そういう悪い所についてはごみ集積所の登録制度とか、そういうことが今後の課題としてあるのではないかと思います。

もう一点は、自分達が決めたステーションは自分達の手で守るとというのが私どもの主旨です。今はごみの多様化で、いろんなごみがある。お年寄りやそれをなかなか把握しきれない人が多く、その中で地域のルールやごみ出しマナーについて、あらゆる場で知らせていくというのが、私どものこれからの課題だと思っております。

それから、地域の環境力とよく言いますが、私どもの組織は、今までは何区衛生協会、環境はついていませんでした。いろんな議論をする中で、環境をやはり付けた方がいいという話しになりまして、何区環境衛生協会となりました。この環境を入れることによって、このようなごみ出しマナーとかいろいろな環境問題について発信出来るのではないかなと思っております。以上です。

**【会長】**

はい、ありがとうございました。それでは、次の方よろしいでしょうか。

**【オブザーバー】**

今までこの答申について勉強させて頂きましたが、本当によくまとめられているのではないかと思います。

ただ、この審議会に参加させて頂いて、私どもの町内でもこの内容を説明しておりますが、カラスの生態につきましては、先程委員が言われたように、非常に頭が良い鳥でございます。カラスの生態として、大体何時に来て何時に帰るかということを観察したのですが、朝大体6時位にうちの町内のごみステーションの上に来ます。そして、来るのは偵察隊として1~2羽位で、ごみが散乱していれば、軍隊で出てくるというふうな体質でございます。

では、私どもはどういうふうにするかということで話しをするのですが、ごみの収集が大体10時、11時という時間帯ですので、その時間帯にごみを持って来て下さいということにしています。朝6時、7時からステーションに置いていけば、やはりカラスの餌食になりますので、時間を決めて、その時間帯に持ってくれば、カラスもそんなに寄ってこないというふうな話しをしております。これは特殊な事例かもしれません。近くに高塔山がございます、その近くの方がカラスをいじめているのだという話があり、そしたら、カラスの親が来てそこの子猫をくわえて高塔山に飛んでいったと、いわゆる仕返しとか、そういうふうなカラスの生態もあり、非常に怖い鳥ではないかなと思います。だから、後はごみの出し方、これはやはり皆さん決められたこと、ルールを守るように私は指導しております。以上でございます。

**【会長】**

はい、ありがとうございました。

**【委員】**

この答申案を昨晚事前に拝見させて頂きまして、大変よくまとめられているなど思ったのですが、私からは大学にいる立場から具体的内容について、少しお話しさせて頂きたいと思います。

指導及びPRの件ですが、今日私の所の学生と話しをしまして、新入生の時、例えば大学に入ってくる、他の地域から入ってくる時、あるいは留学生等、あるいは新入の院生もおりますが、ごみ出しのスケジュールもルールも全く違うらしく、例えば熊本から来たら熊本と全然違う、夜出していいのか、あるいは朝出さないといけないのか、あるいは朝は授業があるからどうのこうのとか、結局そこら辺が非常に分からないので、適当に出してしまって、抗議されるというふうなことがあるのではないかと、学生さんは言っていました。そうすると、例えば大学は始め入ってくる時にオリエンテーションというのがありますが、そこでごみ出しのリテラシーとか、そういうことをやっていると学生さんも分かるのかなということもありますし、例えば北九州市のホームページに動画で載せて頂けると、学生さんはいつもスマホを触っていますので、それも見てくれるのかなという感じはしております。

それともう一つなのですが、PRという意味も含めて、吸殻とか色々落ちていますが、拾うことは良いのですが、やはりごみ箱がないので家に持って帰らなければいけないというのが結構あります。例えば、たくさんあるコンビニのごみ箱というのがありますよね、あのような所に捨てるのが出来れば、ある程度そういう理解が深まるのかなと思います。コンビニでは持ち込みごみはダメというふうに言われているので、そこは北九州市の方から、例えば協力依頼をして頂くとか、そういうふうにすると、コンビニは沢山ありますので、そこのごみ箱辺りがある程度活用出来るのかなという感じはしています。無人のごみ箱はやはり防犯上も危ないし、火を付けられたりすると危ないということもありますので、人がいる辺りというのが活用出来れば、かなり道路の清掃等にも役に立つのかなと

いう感じもしております。以上でございます。

**【会長】**

はい、ありがとうございました。学生のオリエンテーションを利用するというのは、やればすぐ出来ることですね。必ずオリエンテーションはどここの大学もやりますので、是非4月に向けて、時間があまりなく、なかなか時間を割り込むのは大変ですが。それでは次の委員の方どうぞ。

**【委員】**

答申についての意見は特にございませんので、自分の行動の変化として、旅行先のステーションを見たり、これまで以上に自分自身の捨て方を気にするようになったり、他人の捨て方まで気になるようになったりしたので、この会議に参加した学生代表として、まずは身の回りのバイトであったり、友人の捨て方の注意だったり、小さいことから自分も協力して何か行動を起こしていかなければならないなというふうに思いました。以上です。

**【会長】**

はい、ありがとうございました。

**【委員】**

今回初めてこういう審議会に参加させて頂いて、貴重な事前資料も拝読させて頂き勉強になりました。

身近な問題として、先程先生方からありましたが、カラス対策というのを是非PRというか、研究して頂いて、特集でも組んで頂ければと思います。この指導及びPRの所で、やはりカラスとか事業系ゴミとか、こういったところで成功事例、改善事例があり、すでにいろいろと指導を強化されていると思います。これを分かりやすい形で市民に周知するためにも、以前指導される前はこうだったけど、行政や市民と町内会が一緒になって指導してこうなりましたなどの成功事例をもっとPRしたら、うちの町内のステーションもこうすればよくなるのではないかという参考になるとと思います。

このような成功事例、個人情報もいろいろな問題があると思いますので、もちろん了解をとって、そういったPRをもっとして頂ければと思います。

また、一つ要望です。要望というか提案ですが、何かそういった素晴らしい取り組みをしている所は今でも表彰とかされていると思うのですが、もっと取り上げて、表彰制度の拡充とかしていけば810の散乱地域がもっと少なくなるのではないかと思いますので、意見とさせて頂きたいと思います。以上です。

**【会長】**

はい、ありがとうございました。次の委員どうぞ。

**【委員】**

私は委員になって、この審議のまとめをずっとやらせて頂いたのですが、改めてこの環境局職員の末端までが、非常に現場に精通しているということの評価しているところ です。

ステーションの配置についても、地域の実情に基づいた柔軟なステーションの設置というのは既に実行、実践されているというのを実感しました。というのも、高齢化が進む中で、単身世帯、労働世帯が管理人になった場合、町内会の話し合いで担当を決めるのですが、新たにもう一つステーションを作るとか、資源ステーションを作るというのは、非常に町内会としても判断に悩むところなのです。そんな中、そのような要望に非常に速やかに現場の方で対応して頂いていただいたという状況に、この1週間のうちで2回も遭遇しています。その点で言えば、現場に精通した職員が、その実践に応じているということで、



冒頭申し上げたような高い評価をしているところです。

ただ、今後の課題でもあったと思うのですが、労働世帯、単身世帯、高齢世帯など、どうしてもそういうことがこれから新たな問題として出てくるだろうと思います。今環境局で、ふれあい収集の取り組みをされています。ちょうど2週間ほど前ですが、非常にきれい好きな方の部屋がいつの間にかごみ溜めになっていて、認定を受ける前の痴呆が疑われるようなケースが、うちの学生街の団地の中に、2件も立て続けにありました。

また、私も600世帯の自治会長を30数年やっているのですが、40数ヶ所あるごみステーションの中でたった1ヶ所、どうしても夜間に不法投棄され悩んでいました。1週間前に現場の職員がステーションを見まして、思いきって大通りから少し動かしたらどうでしょうかというので、早速委員会で実行に移しているのですが、意外と不法投棄のごみがどこから流れてきているのかというのは、むしろ我々より現場の職員の方が精通されていて、もっと早くお話ししたらよかったというのもよくあります。町内会で決めたら固定してしまうので、現場に精通されている監視員や現場の職員と時折町内会でヒアリングをして、率直に問題点を指摘していただく機会があればいいと思います。先ほどの通りから6~7m移動すれば、この不法投棄の流れが止まるのではないかという分析をされたのも非常に参考になりました。

そういう点で冒頭申し上げた、非常に職員が現場に精通されていることについて、まずはこれを大きく評価しながら、今後の課題として出来るならば、前段申し上げた対策について、どうしても保健福祉局などとの相談になることで、現場の職員の方も大変だと思うのですが、そういうシステムがあった方がよりこの内容が精査・実行され、あと2%が1%に減ずる一つの大きな要因にもなるのかなと思います。

これを読ませて頂いて非常に明るい気持ちになったことを最後に感想として述べて、私の意見としたいと思います。

#### 【会長】

はい、ありがとうございました。

#### 【委員】

こんにちは。私も参加させて頂き、特にごみというものはやはり身近なもので、小さな自分の地域のごみの話も含めてお話しさせて頂いた中で、まずは事業系のごみステーションのご相談をしましたら、おそらくすぐに指導が入ったのだろうと思いますが、うちの地域のごみステーションがとてもきれいになりました。形はそんなに変わっていないのですが、今まで例えば50個あったごみが20個位に減っていつもきれいな状態が保てるように、この何か月かになっています。きっと自分の声を聞いて頂いた職員の方が、先程委員が言われたように即座に動かれて、事業系と言われる焼肉屋さんとか、焼鳥屋さんとか小さなそういうお店の方にも指導に入ったのではなかろうかと思います。これは、本当のところどうだったのかは分かりませんが、何にしてもご相談した所のステーションがきれいになったということをお申し上げます。有難うございました。

それから、事業系のごみと一般ごみの分別が始まって、4種類に分けた中のかんびんと、それからプラが増えたのですね。町内会の話し合いで聞いたところ、分別してせつかく分けてプラはプラで出しているのに、結局はパッカー車に入れて、工場で焼却していると聞きました。本当のところは知りませんが、そういう話しを聞いて、町内会の方が「どうせ燃やすのだったら一緒にいいのでは」という話しが一つ出ておりましたので、ご参考までに。同様に、普通の一般ごみと同じ様に、分別したプラも焼却場に入れるという噂も耳に入ってきています。

それから、ごみステーションのパネル展を考えていると言われていたので、是非これはお願いしたいと思います。先程の方も言われていましたが、他所の地域に行ったときに、このごみステーションのあり方はいいねと思って声をかけられたと思うのです。私も同様に先だって持ってきたものは、他所の地域で使っていたものなのです。我が家の方もそれを取り入れましたが、やはり他所でいろいろ工夫されているごみステーションのあり方、

それが固定物でなくても、移動できるようなものなどいろんな工夫をされていますので、業者の人でも何でもいいのですが、こんなものがありますよ、こんなものを使ったらどうですかというような、パネルを使った展示会みたいなものを行い、各校区の責任者の方とかを集めて、意見交換など取り上げてもらえれば変わってくるのかなというのを感じます。

その次に、「ごみ問題ではなくてもいいですよ」と先程会長が言われたので、ちょっとお尋ねしたい部分があります。環境と少し違うのかなと思うのですが、孫がおりまして、公園で遊んだりする中で、何年か前から公園でボール遊び、要するにサッカーやキャッチボールなど、ボール遊びをしてはいけません、それから公園で自転車に乗ってはいけませんというふうになっているようですが、その代替えというか、それならどこで、そういう遊びをしているのか、公園はどんな遊びならしていいのかということをお尋ねされたときに、私は孫に返事ができなかったので、こういう問題はどこでお尋ねしたらいいのかなと思って、今日宿題で持ってきました。以上です。

#### 【会長】

はい、ありがとうございました。それでは、会長代理の方からお願いします。

#### 【委員】

私はこの問題が議論され始めたときに、ルールをがちがちに決めると本当に窮屈になるなというふう感じておりました。そういった点では、今日こういう答申案が出されて、地域のローカルルールも尊重しながらの統一したルールということで、非常に満足しております。それが第一点目で、第二点目は今日も皆さんからいろいろ伺って、強く感じたのは、ごみ問題の中で、ごみステーションというのはごく一部であって、もっと議論を重ねて、改善をしていかなければならない項目が非常に多くあるなということを感じました。是非この場でも、また議会の場でも、そうした議論が行われればいいなと思っております。以上でございます。

#### 【会長】

はい、ありがとうございました。それでは一通り意見を頂いたところですが、分別したものがその後どうなるのかというご質問には答えて頂いてないかもしれません。

公園のことについては、もし誰か情報をお持ちであれば。それではまず、最初のご質問について、お願いします。

#### 【事務局】

委員の方からプラスチック容器包装について、分別した後、焼却されているのではないかとありますが、プラスチックの分別につきましては、容器包装リサイクル法という法律に基づきまして市が分別を行って、その後、容器包装以外の異物も入っていますので、異物を除去するという形で選別を行います。その後、容器包装を利用したり、作ったりしている事業所がリサイクル経費を負担して、法律の制度の中で動いておりますので、確実にリサイクルはされているものと思います。リサイクルの方法としましては、プラスチックはまたプラスチックに戻すということで、プリンターとかそういったものに利用したり、あるいは科学的な処理をして工業原料に戻したり、そういった形でリサイクルされてございます。以上でございます。

#### 【会長】

よろしいですか。集めたものの中でも使い物にならないものはしょうがないので、最終的には燃やすのだけど、きちんと再資源化できるものは、法に基づいて再資源化の方にまわっている。だからできるだけ出す時に燃やさないといけないような物が混じらないようにきちんと洗って、ふたを外して出して頂ければ出したまま全部生きるのです。ごちゃまぜになっていると品質が悪くなり、値段が下がってしまうというのはあまりよくないですね。

公園の件はいかがでしょうか。

**【事務局】**

総務課長でございます。申し訳ありません、今即答はできないのですが、厳密に言うと建設局という所で公園管理をしている部署があります。今のご質問、子どもたちの遊ぶ環境も含めてということでございますので、一旦私どもの方で整理させて頂いて、個別にまたご回答させて頂きたいと思っております。今日は私の方が一旦お引き受けするということで、ご了承頂きたいと思えます。

**【会長】**

はい、よろしいですね。それでは只今皆さんから御意見を頂き、コメントも頂いたのですが、私が今お聞きしている限りでは、特にこの答申の案そのものに異論があるという方はいらっしゃいませんで、多くの方がよくまとまっているというふうにおっしゃいました。いくつかせっかく出たご意見で議事録に残すだけではもったいない、この中にきちんと書いた方がいいなと思ったことが3点程ありました。

一つは、良い事例ですね、ローカルルール、地域でやっておられることの中で良い例、参考になりそうな例を積極的に紹介して、皆さんがそれを参考に出来るようにして欲しいという意見です。これは大事なことだと思います。PRの所でもどこか少し入れる必要があるなと思えました。

それから、せっかく褒めて頂いたので、現場を熟知している職員と地域との話し合いの機会をもっと増やすというのは、とても意味があるというご意見がありました。今後のところに情報交換をしっかりするという事を入れましょう。

それから更に、これはちょっと言い方に工夫があるので考えますが、単に環境局の政策だけではなく、これから先、高齢者に配慮しないと上手くいかないというご指摘、大事な点だと思うのです。ですから、環境局だけの仕事に終わらないよう、地域づくり、あるいは高齢者、福祉というものもしっかり繋がっていることが大事なので、それも意識して欲しいということで、審議会の意見として出てきましたから、これも中に入れたいと思えます。上手に入れるためには少し時間がいりますので、今ここで、ここをこのように文章に直しますという提案は出来ませんが、私に一任を頂けますでしょうか、よろしいですか。それではご一任いただきましたので、今の点を上手に入れて、特に市長の目にも触れることですから、せっかくの皆さんからの意見が、市の全体に渡って参考になるようにしたいと思えます。

はい、それでは今言った3点については、付け加えさせて頂くということで、この案を答申として提出するという事でよろしいでしょうか。はい、有難うございました。それでは、直ちにその作業にかかって頂きたいと思えます。他に何かご意見ございますでしょうか。

**【委員】**

公園等でごみを拾ったときに捨てるごみ箱がないということで、コンビニの話も出されましたが、当局の今の考え方とか運用の仕方について、答弁があればお願い致します。

**【事務局】**

実はごみ箱も私が担当でございまして、以前市内には各公園であったり、主にバス停に市の公共のごみ箱を置いてございました。一般のごみ用と管理用、二つに分かれたものがあったのですが、どうしてもその中に心ない方が家庭ごみを持ち込むとか、色んな問題がございました。極端には放火もあつたりしてました。平成15、6年に地元の衛総連の方とも話し合いをした上で、市内の公共のごみ置き場を全て撤去したという経緯がございます。その結果、ごみの散乱が減ってきました。特に吸殻関係は今でも多少ありますが、かなり減りました。また、ボランティア清掃用のごみ袋がありますが、それをその各地域の色んな場所にぶら下げてあるとか、色々な工夫がされています。

そういうふうにはやっていますので、公共のごみ箱をこれからまた増やすというのは、少し厳しいのではないかというお話も先ほどございました。コンビニなど、いろんな所にごみ箱がありますので、何が出来るかというのはまたこれからもいろいろ研究して、また改めてご相談等していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

#### 【会長】

はい、よろしく申し上げます。私もそのことについては研究をして頂きたいと思っていました。ボランティア用の袋があるということで、少し小さなサイズの袋も用意して、例えば保育所が必要と言ったらすぐ届けるというように、小学校、保育所、幼稚園など、配る相手先など色々工夫はあると思うので是非ご検討下さい。ここには特にはありませんが、大事なご意見だと思えました。会長代理それでよろしいですか。

それでは他に何かございますか。よろしいでしょうか。特にございませんようでしたら、少し予定時間より早いですが、事務局に進行をお返しします。

#### 【事務局】

ありがとうございました。最後にまとめということで、局長の松岡の方からご挨拶申し上げます。

#### 【環境局長】

委員の先生方に精力的にご審議頂きまして、本当に有難うございます。本日答申案をご議論頂いたわけですが、今回私ども諮問させて頂きまして、ごみステーションの問題、私ども自身にとっても非常にいろんな面から勉強させられました。

私ども、ある意味でごみのプロであるというふうに自負してございまして、そういった中で取り組んできました。しかし、我々のスタンスが変わらなくても、世の中が社会的に変わっていく中で、今一度このごみステーションという問題を見つめ直す機会を与えて頂いたものだと思っております。

今回の答申は、ここに書かれた答申案だけではなく、これまで委員の先生方が述べてこられた思い、そういったものが行間にこめられているものだというふうに思っています。私どもも気持ちをこめて、この答申に対して答え、そしてここに書かれてある様に、本当に市民と車の両輪となって取り組んでいきたいというふうに思っています。

すみません、私事になりますが、私これまで本当にご指導頂いたわけですが、この3月で役所の方を退任することになります。本当にこれまでのご指導有難うございました。自画自賛と言ってはなんですが、私ども環境局の職員皆、私のある意味では本当に誇りであります。みな一生懸命になって取り組んでいるわけで、私とすれば本当に安心して退けるというような気持ちでありますので、引き続き役人いびりも含めて、ご指導、激励、環境局を今後とも本当に可愛がって頂ければということで、宜しくお願ひしたいと思います。どうも有難うございました。

#### 【会長】

松岡局長からのご挨拶がありました。私も本当に若い頃から、長い付き合いでございました。今、松岡局長は全国区の人でありまして、北九州市の松岡ということで、大変著名な方になられたわけですが、長い間本当に北九州のみならず、日本の、あるいはアジア、世界の環境のために働いて下さり、北九州市の誇りの一つではないかと思っております。どうぞこれからもOBとして、しっかり目を光らせてアドバイスをお願いしたいと思います。どうも有難うございました。

#### 【事務局】

ありがとうございました。それでは以上をもちまして、第40回北九州市環境審議会を終了致します。どうも皆様お疲れ様でした。